

## 新居浜市総合文化建設委員会 第2回分科会あかがね文化 会議録

1. 日時	平成 23 年 6 月 13 日 (月) 14:00 ~ 16:00
2. 場所	新居浜市役所 3 階応接会議室
3. 出席者	<p>委員            坂上公三   井上和志   伊藤嘉秀                            武田信之   渡邊哲郎   直野由美子</p> <p>総合文化施設準備室長    赤尾恭平          "                            副室長   菅春二          "                            係長    藤田英友          "    山田慶治</p> <p>(株)日建設計   2 名          (株)トータルメディア開発研究所    2 名          新居浜市役所 建築住宅課    1 名</p>
4. 欠席者	安孫子尚正    藤田優
委員長	<p style="text-align: center;"><b>&lt; 開会挨拶 &gt;</b></p> <p>皆さまこんにちは。</p> <p>本日は、第 2 回「新居浜市総合文化施設建設委員会」あかがね分科会の開催にあたりまして、公私ともご多忙の中、ご出席頂きまして、心からお礼申し上げます。</p> <p>これから第 2 回目の分科会を行うわけですが、以前事務局から説明もありましたとおり、今年度末には実施設計迄完了しなければならないことから、かなりタイトなスケジュールで会を開催しております。皆様にはいつも一方ならぬお力添えに預かり、誠にありがとうございます。梅雨の折、鬱陶しい季節となりましたが、引き続き活発な意見交換を承りますようよろしくお願いいたします。それでは、事務局から配布しております会次第に沿って、会議を進行いたします。事務局より説明よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>&lt; 第一回分科会のまとめ・資料配布について &gt;</b></p> <p>お手元の会次第をご覧ください。まず最初に前回の各種意見について事務局から説明します。</p>

事務局	<p>意見を確認しましたが、前回の意見と同じことのように思いました。また、目をとおして頂いてニュアンス等の違いがあればご意見を頂ければと思います。</p>
<p>(株)トータルメディア開発研究所</p>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;資料説明&gt;</b></p> <p>共通資料の説明に入ります。</p> <p>前回の事業の基本的な考え方・施設整備目標の設定を直したものがお手元にあります資料になります。委員の方々からの指摘をもとに新しく作成いたしました。また目を通して頂いてご意見を頂ければと思います。</p> <p>次に、あかがねフォーラムの全体フロアイメージの資料に移ります。1ページ目ですが、交流のコンセプトを絵に表したものになります。交流のできる空間を真中におくことで、人と人が触れ合えるものになると考えています。そして、1ページのアート工房のフロアイメージを詳しくしたものが2ページになります。どのような物が空間内にあるかを説明します。1つ目に、「インフォメーション」これは、市民の皆さまの館内での活動をサポートする案内所。アート工房の使用方法や道具の貸出の窓口、さらにはあかがねミュージアム全体の総合案内のための情報提供を行う。2つ目に、「工房」(アトリエ)水場などの設備が整った創作活動が行えるクローズな場所。あかがねミュージアムで開催する多人数でのワークショップ活動や各種サークル活動に利用できる場所。3つ目に、「工房」(オープンラボ)アトリエと同様に創作活動を行う場所。セミオープンな空間の中で、机、椅子の配置次第で、多人数でのレクチャー形式の創作活動や、個人での簡単な創作活動まで幅広く対応できるようになっています。4つ目に、「ギャラリー」アート工房内で創作された創作物や創作するための素材を展示できるスペース。きれいにディスプレイされることで、人々の興味をひき、促進できるようにするものになります。5つ目に、「スタジオ」音が出るワークショップ活動、さらにはバンドや太鼓、落語や演劇のリハーサルに使用できる防音室。小劇場のリハーサルに使用できるスタジオ大、また各種サークル活動に利用できるスタジオの2種類があります。6つ目に、「打ち合わせスペース1・2・3」市内や館内で活動する組織の打ち合わせのスペース。会議や講習会のためのクローズなスパー</p>

ス1や床があり和室として使用できるスペース2、ミーティング形式のためのオープンなスペース3を配置し、皆さんの活動に応じて対応できます。

次に、交流サロンのフロアイメージに移ります。資料の3ページをご覧ください。1つ目に、「交流サロン」テーブルと椅子が並び、喫茶を行いながら、市民の皆様が休憩、談笑、学習、打ち合わせに使用できるスペース。小劇場と隣接し、待合スペースとしても利用可能です。また、フリーステージと連動し、イベント時には開放して使用できます。2つ目に、「カフェ機能」簡単な飲食、喫茶が提供できるカウンターになります。3つ目に、「ショップ機能」あかがねミュージアムのグッズや新居浜ゆかりの品々、さらにはアート工房で製作されたものを販売できるショップもあります。4つ目に、「屋内フリーステージ」階段状のフリーステージで、スタジオでの活動を鑑賞するための機能としても活用できます。

次に、4ページのあかがね文化展示検討資料の概要の整理に移りたいと思います。

最初に、あかがね文化の位置付けについてご説明します。「あかがね文化」の担い手は、市民一人一人です。そのため、この場所は、市民自ら活動できる場所として位置付けています。「あかがね文化」ゾーンは、単なる交流する場所にすぎません。様々な活動をされている主体が、この「あかがね文化」という場所を活用して、交流を通じて新居浜というものを発信していく場所です。

次に、あかがね文化の機能をご説明します。あかがねミュージアムの中でも、「新居浜らしさ」を表現する場所として、新居浜らしさに触れ合い、学ぶ機会を提供していきます。新居浜を語る上で、欠かせない要素を、「誇・技・心」という3つの切り口で伝えていきます。「誇・技・心」を詳しく説明いたしますと、太鼓台ミュージアムを「誇り」として、誇りの醸成を太鼓台、太鼓祭りという新居浜のシンボルを用いて、新居浜市民の誇りを醸成します。次に、産業遺産インフォメーションを「技」として、技の継承を新居浜の歴史を表している産業遺産を伝えることで、受け継がれてきた技を未来へ継承していきます。次に、地域文化醸成を「心」として、心の育みを新居浜の歴史・文化・自然・人・風土を通して、新居浜市民の心を養い育んでいきます。

	<p>これらの考えを絵で表し、構成図として表したものが5ページになりますのでご意見頂ければと思います。</p> <p>委員の方々のご意見をお聞きしていきたいのでお願いします</p>
事務局	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>太鼓台の入れ替えのことを考えた良い方法だと思います。やはり保管方法の面は問題になってくると思います。その面も頑張っ て計画していきたいと思います。</p> <p>委員の方々からのご意見はありませんか。</p>
委員	<p>「誇・技・心」と言いましても、様々な伝え方があるので、伝えるべきものを定めて、来場された方に伝わる事が明確になるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>様々な方向から明確に伝わるようにしていきたい。</p>
委員	<p>厚みや深みのあるものを紹介できれば良いと思います。</p>
事務局	<p>紹介することに関して我々もそう思っていますし、精一杯尽くしたいと考えています。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>3つのものが一体になるように考えています。例えば、資料5ページにある産業遺産ギャラリーで、3つ揃えて展示、紹介したいと考えています。</p>
事務局	<p>会次第の「お手玉について」のご意見を頂ければと思います。</p> <p style="text-align: center;">&lt;お手玉につて&gt;</p>

委員	<p>世界の様々なお手玉を展示して皆様にみて頂きたい。あと、お手玉を作れるような場を設けたい。世代交流の場を目指して、お手玉がその発信源になるようにしたい。例えば、お年寄りが子供に作り方や遊び方を教えることで、世代交流になるし継承にも繋がると思う。各地域でのちがいや歴史を伝えられる場もあれば興味が湧くと思う。</p>
委員	<p>お手玉のできるスペースはあるんですか。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>地域文化ギャラリーがあるだけなので、これから考えていきます。</p>
委員	<p>世代交流に力を入れて頂きたい。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>展示の面では、場所はとれています。作るといったことに関してはアート工房でできます。</p>
事務局	<p>総合文化施設の世代交流は大事なものだと考えています。様々なものができる場所を計画していますので配慮していきます。</p>
事務局	<p>まだ、外面の話までなので様々な案を取り入れていけたらと思います。</p>
委員	<p>お手玉の感心は高いと思うので、ぜひスペースを設けてほしい。</p>
事務局	<p>細かい事は後の話になるので、また機会を設けますのでお願い</p>

	<p>します。絶対に相反するものが出てきますので、バランスを取りながら試行錯誤して考えていきます。</p>
事務局	<p>次に「産業遺産について」のご意見を頂ければと思います。</p>
事務局	<p>産業遺産と言いましても、幅広いものなので難しいと思いますがご意見頂ければと思います。</p>
委員	<p>正光寺山古墳は、産業遺産ではないように思うんですが、近代遺産というスペースを作るのはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>難しい所ですが、たしかに産業遺産ではないので、古墳に関しては、言葉を変えて展示する方向でいきたいと思います。</p>
委員	<p>経験された方々の経験談や詳しい方々の説明の方が実感が持てるし、分かりやすいものになると思う。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>アーカイブとして、ソフト面で生の声を聞いてもらいたいと考えています。ハード面に関しては、映像などで紹介し、新しい情報を次々と入れて紹介していくようにしていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>今そういった話を進めているので、今回の意見を聞いて詳しいことの話ができると思います。</p>
事務局	<p>次に、「太鼓台展示について」のご意見を頂ければと思います。坂上委員長の方からご説明があります。</p>
	<p>&lt; 「太鼓台について」の説明 &gt;</p>

<p>委員長</p>	<p>太鼓台ですが、第1回目の会では購入や、各自治体の貸出等の意見がでたようですが、最終的には自治会の貸出がより良い提案かなと思われましたが、どちらにしても各自治会に照会をかける必要があるかと思います。太鼓台には運営委員会というものがあり、その委員会に話すのが1番だと思われます。委員会に話すにも案が必要になります。その後事務局と事業者も交え案を検討したいと思います。事務局からここで検討案を紹介してもらい、それについて意見交換を行いたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から検討案について説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>太鼓祭り推進委員会が日にちは、まだ決まっていますが行われる日までに我々の意見をまとめて話し合いに行きたいと思っています。そこで、説明をして納得して頂けるようにしていきたいと思っています。実際もう実物の展示は決まっているので、管理面や保管面に関しても徹底した策をねり推進委員会にもっていきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>貸出の際の資金はどうなっているんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>貸出の資金の面は、まだ出ていないので、まず各自治会にお話しに伺ってからの話になると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>運営委員も4地区に分かれているのはどうするのか。展示の期間もどのくらいにするのか。早く決めないといけない。</p>
<p>事務局</p>	<p>大変大きなことなので、早急に対処しなければならないことだと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局の案でよろしければ、私が太鼓祭り推進委員会の副委員</p>

	<p>長をしていますので、運営委員の方にこの話をもっていきたいと思います。</p> <p>&lt; 正光寺山古墳について &gt;</p>
事務局	<p>「正光寺山古墳について」のご意見を頂ければと思います。</p> <p>古墳についてですが、先ほど渡邊委員の方から古墳の展示方法の件でご指摘がありましたので、その件については検討していきます。そして、どういった物を展示していくかということですが、愛媛大学の吉田広先生にご監修を頂きながら、正光寺山古墳について進めていきたいと思っています。あと、協力をして頂いている愛媛県考古学協会等の方々とも話し合っていく展示計画を進めていこうと思っていますので、ご理解をして頂きたいと思います。</p>
委員	<p>建物の展示方向は西にあたるんですか。</p>
事務局	<p>東側にあたります。</p>
委員	<p>展示しているものと実物が同じ位置感で見られると思いで。</p>
事務局	<p>展示物と実物の古墳の間に民間の住宅がありますので、難しいと思いますが、なるべく近い位置に展示したいと思います。</p>
事務局	<p>近年、携帯電話も進化してきていて、その機能を使ってできるものもあるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>携帯電話の読み取る機能を使って、各分野についての情報や動画が見られるといったものも面白いかもしれません。</p>



委員長	<p>たくさんのご意見ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;第2回分科会 あかがね文化 閉会挨拶&gt;</b></p>
事務局	<p>アンケートを今回は配布していませんので、ご意見、ご質問等はお電話でも頂けたらと思います。</p> <p>施設面だけでなく、事業面・運営面等でもご意見頂ければと思います。まずは、方向性をしっかり定めたいので全体のバランスの面でご意見頂ければと思います。</p> <p>次回の分科会は、7月25～29日で予定しております。お手元にある開催希望表にご記入していただいて都合の良い日にして、ご連絡差し上げますので、よろしく願います。</p> <p>これで第2回あかがね分科会を終わりたいと思います。</p> <p>今日はお忙しい中ありがとうございました。</p>